

あなたは、折り紙がたくさん置かれているのをみつけました。  
それらを連結して 1 枚の大きな紙の垂れ幕を作ることになりました。

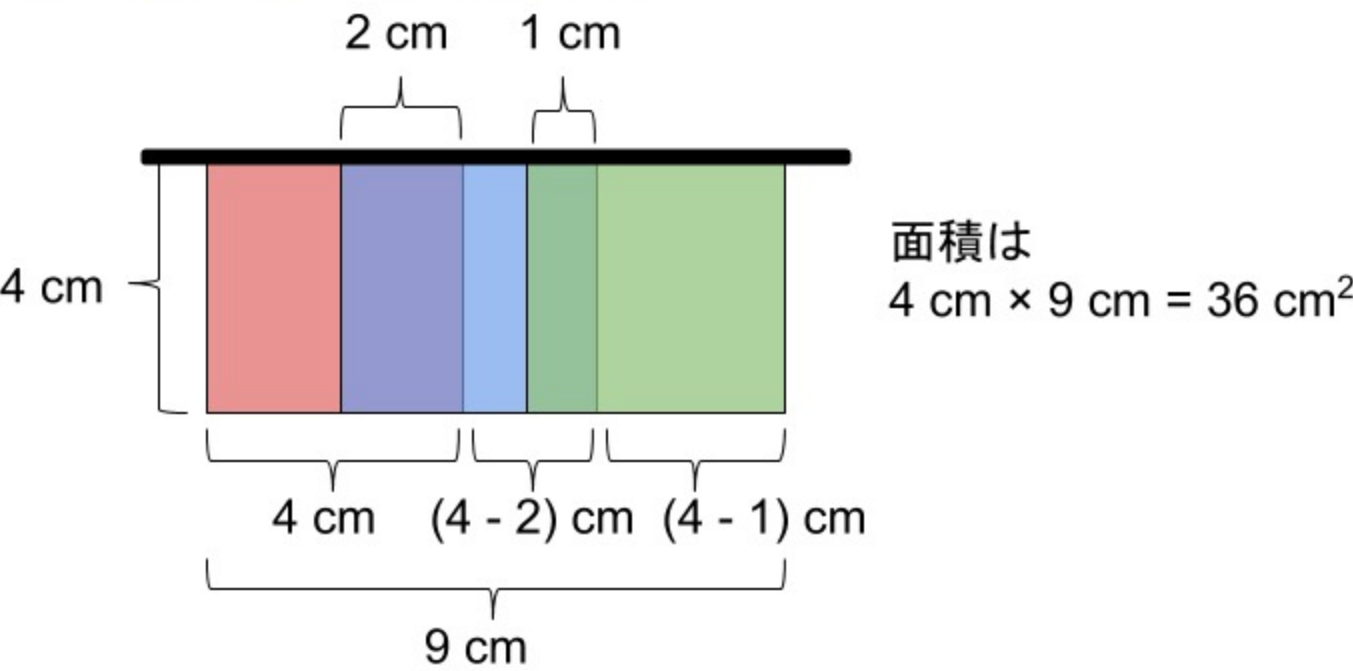
各折り紙は 1 辺の長さが  $D$  cm、すなわち縦  $D$  cm × 横  $D$  cm の正方形です。これらの折り紙を、左右に長く伸びた直線を基準に貼り付けていきます。ただし、各折り紙について、いずれか 1 辺がちょうど直線に重なるようにします。  
また、1 枚目を貼り付けたあと、2 枚目以降は以下のルールに従って順に貼り付けていきます。

- ・ 1 つ前に貼り付けた折り紙の右辺からみて、1 cm 以上  $D/2$  cm 以下だけ重なるように貼り付ける。(下図に例を示しています。)

上記のルールを守って作られたある垂れ幕について、基準の直線を平面座標の  $x$  軸とみなして、2 枚目以降の各折り紙における 1 つ前の折り紙への重なり具合が与えられます。

1 枚になった垂れ幕部分の面積を計算してください。

例えば、入力例 1 では以下のように計算できます。



🚩 評価ポイント

10回のテストケースで、正答率、実行速度、メモリ消費量をはかり得点が決まります。  
より早い解答時間で提出したほうが得点が高くなります。

1. 複数のテストケースで正しい出力がされるか評価 (+50点)
2. 解答までの速さ評価 (+50点)

📦 入力される値

入力は以下のフォーマットで与えられます。

```
N D
d_2
...
d_N
```

- ・ 1 行目には、折り紙の枚数を表す整数  $N$  および折り紙の 1 辺の長さを表す整数  $D$  が半角スペース区切りで与えられます。
- ・  $1 + i$  行目 ( $1 \leq i \leq N - 1$ ) には整数  $d_{i + 1}$  が与えられます。これは、 $i + 1$  枚目の折り紙が  $i$  枚目の折り紙に  $d_{i + 1}$  cm 重なっていることを表します。

それぞれの値は文字列で標準入力から渡されます。[標準入力からの値取得方法はこちらをご確認ください](#)

📋 期待する出力

- ・ 完成した垂れ幕の折り紙部分の面積を整数で出力してください。
- ・ 出力最終行の末尾に改行を入れ、余計な文字、空行を含んではいけません。

✅ 条件

すべてのテストケースにおいて、以下の条件をみたします。

- ・  $2 \leq N \leq 100$
- ・  $2 \leq D \leq 10$
- ・  $1 \leq d_i \leq D/2$  ( $2 \leq i \leq N$ )

入力例1

```
3 4
2
1
```

出力例1

```
36
```

入力例2

```
4 10
3
4
5
```

出力例2

```
280
```